

赤谷3地区 がけ崩れ対策事業

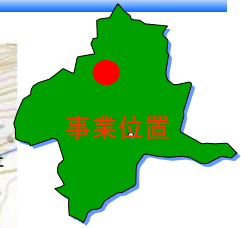
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：みなかみ町相俣
- 地区名：赤谷3地区
- 事業内容：擁壁工、鉄筋挿入工
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：令和2年度～令和6年度（5年間）
- 保全対象：避難所 1箇所
人家 9戸

鉄筋挿入工とは、
鉄筋やロックボルトなどの比較的短い棒状補強材を地山に挿入して斜面を安定させるものです。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

**擁壁・防護柵
をつくります**

**地元
の声**

- ・がけ崩れから避難所に指定されている赤谷公民館を守っていただきたい。（発言者：地元住民）
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。（発言者：地元住民）
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。（発言者：地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される人家	0戸	9戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



保全対象（赤谷公民館）

事業前の状況

実施後

- ◆擁壁等をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後の状況(イメージ)

事業の進捗状況（R4年3月現在）

平面図



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和4年度は、擁壁工の整備を推進し、事業の進捗を図ります。

